

## グリーンハイク(清掃登山)ご苦労様でした



6月6日全国いっせいに行われたグリーンハイク。高取山コースには27名が参加、土庫病院友の会ハイキングクラブからも多くの方が駆けつけました。

壺阪山駅から登山口までの道はかつての城下町のメインロード。それらしい雰囲気の家並み、石畳の残る街道、そして路面の石には所々ゲンノショウコ、センブリなど薬草の絵がその薬効とともに描きこまれています。

ここ高取町は富山の薬売りと並び称された大和売薬の中心地であり、隣接する御所市にかけて、今でも製薬、売薬に携わる人が少なくありません。

**スイカズラ (スイカズラ科)** 「薬の町」を象徴する足元の絵、そして各家の玄関を飾る花々を楽しみながら歩くと、やがて人家の途絶える砂防公園に。スイカズラの甘い香りがほのかに漂います。ここからゴミ拾い開始。道にゴミは少ないが、男性たちが果敢に溪流に踏み込んで、半ば埋もれているビニール袋やカン、ビンを拾い上げていきます。



**タツナミソウ**

やがて国見櫓(やぐら)跡に。成る程名の如く大和盆地の大部分が見下ろせ、その盆地を隔てた向こうに金剛・葛城の山並みを見て取れます。二上山登山組の「我が二上山」もくっきりとした稜線を見せています。

頂上は高取城址。残っているのは石垣だけですが、それでも立派な城だったことが分かります。新たに看板が設置されており、この城が岡山の高梁城、岐阜の犬山城と共に「日本三大山城」とされていると説明されています。

高い石垣の上で弁当をひろげ、山の歌を合唱(?)して下山。下山路が車道の下を走るようになると、電気製品、タイヤ、車の諸部品、カン、ビンなどが斜面にいっぱい。車から投げ捨てたのは明らか、拾える物以外は記録し、役場に報告する事にしました。

壺阪寺を抜ける道ではカラタネオガタマが花を開き、甘い匂いを強烈にふりまいています。女性たちは「お菓子の匂い」と言っていました。

この日皆で拾ったゴミは燃えるゴミ 13.5kg、カン・ビン3kg、不燃ゴミ4kg、その他2.5kg、計23kgでした。皆さん本当にご苦労様でした。



**カラタネオガタマ (モクレン科)**

## 春から夏へ みどい深まる二上山

大部分を雑木林で覆われる二上山、四季の移ろいが山肌にも表れて、眺めるだけでも時には楽しく心弾み、時には気持ちが休まります。最も身近な名山と言えるでしょう。

そして今、山路を飾る花たちも春から初夏へ、そして夏へといつの間にか交代して行き、「あれ！この花がもう咲いてる」と小さな発見を楽しみながら登っています。

テイカカズラの花が登山路に落ち始めると、ササユリが咲きだしました。そして山のあちこちですっと伸ばした花茎にピンクの花を開いています。

祐泉寺から岩屋峠への道端に咲くコアジサイ、尾根道のガンピ、足元に咲く小さなツルアリドオシなどは、いずれもひっそりと咲いて地味ですが、気付いた人達が眼を細めながらしばらく

見つめていたりいます。

もうすぐ各種のアジサイも色とりどりに花を揃えるでしょうし、ハンゲショウも白粉で葉の半分を装うでしょう。

イチヤクソウ科のイチヤクソウは場所によっては花を開き、同科のギンリョウソウ、シヤクジョウソウももうすぐ開花を迎えます。

二上山雌岳山頂東の東屋では、この山の花の写真が飾られていますが、撮影者の努力で季節を先取りする形で張り替えられています。ぜひご覧下さい。

(以上 119 号)

写真右は  
ササユリ



シライトソウ



上テイカカズラ



上コアジサイ



上 ツルアリドオシ



上 ホタルブクロ

